

第1回「宇都宮市都市・地域
交通戦略策定協議会」(H19.12.19)
資料より抜粋

○宇都宮市が都市・地域交通戦略を策定する意義

【目指す将来まちづくり方針】

本市においては、現在、将来のまちづくりの指針となる第5次宇都宮市総合計画を策定中です。この中で持続可能な魅力あるまちづくりを推進するために、都市機能の集約や公共交通の充実・強化などにより、ネットワーク型コンパクトシティの実現を目指すこととしています。

【公共交通の現状と課題】

しかしながら、これまで公共交通ネットワークの充実・強化が図れたかと言えば、否定せざるを得ません。むしろ公共交通は総じて右肩下がりの傾向にあります。それはこれまで日本では、交通事業者として採算が取れることを前提とする考えであったため、事業不採算の路線が縮小・撤退されてきたことが一因に挙げられますが、その他の要因として行政、交通事業者、利用者、それぞれの問題があると思います。

行政の問題では、市民ニーズを反映した取り組みを実施してきたか、民間の交通事業者任せにしてこなかったか。

交通事業者の問題では、利用者（市民）のニーズを的確に把握し、それに見合ったサービスを提供するという努力を十分行ってきたか。

また、利用者である市民の側でも、公共交通の利便性を要求する一方で、公共交通を維持するための利用する努力をしてきたか、過度にマイカーに依存した生活をしていないかなど、それぞれの立場から疑問や反省すべき点があります。

このために、「公共交通の利用者減少が、交通事業者による料金値上げや運行本数の減少等を招き、それがさらなる利用者減少を生じさせる」公共交通の負のスパイラルとも言える悪循環が生じたものと考えています。

【都市・地域交通戦略策定の必要性】

今回策定する交通戦略は、本市が目指すまちづくりのために、市民、交通事業者、行政が相互に連携し、協働でこの問題に取り組み「公共交通の利便性向上」「市民による利用者数の増加」「事業者の収益改善」の正のスパイラルに転換を図ろうというものです。

これからますます進む高齢社会、地球温暖化、社会保障費の増大による財政上の制約等の様々な課題に的確に対応し、持続可能な魅力あるまちづくりを推進するためには、市民、交通事業者、行政の連携のもと、選択と集中による総力戦により、この難局に取り組まなければなりません。

今、「宇都宮市都市・地域交通戦略」を策定し、官民が一体となって公共交通の充実・強化に積極的に取り組んでいく必要があると考えます。

○都市・地域交通戦略について(国土交通省資料より)

□ 道路交通の混雑緩和、公共交通の乗継ぎ円滑化など、都市や地域が抱える交通の課題を解決し、円滑な交通の確保と目指すべき将来像を実現するため、

- ①都市・地域総合交通戦略の策定を国が支援
- ②戦略に基づき、公共交通の導入や交通結節点の整備等を重点支援

- (施策の例示)
- 基本的な公共交通機関を軸とした「まちづくり」
 - まちの顔となる交通結節点の総合的な整備
 - まちなかへのアクセス改善と魅力的な歩行者空間の創出

都市・地域総合交通戦略の策定

総合交通戦略

都市の将来像

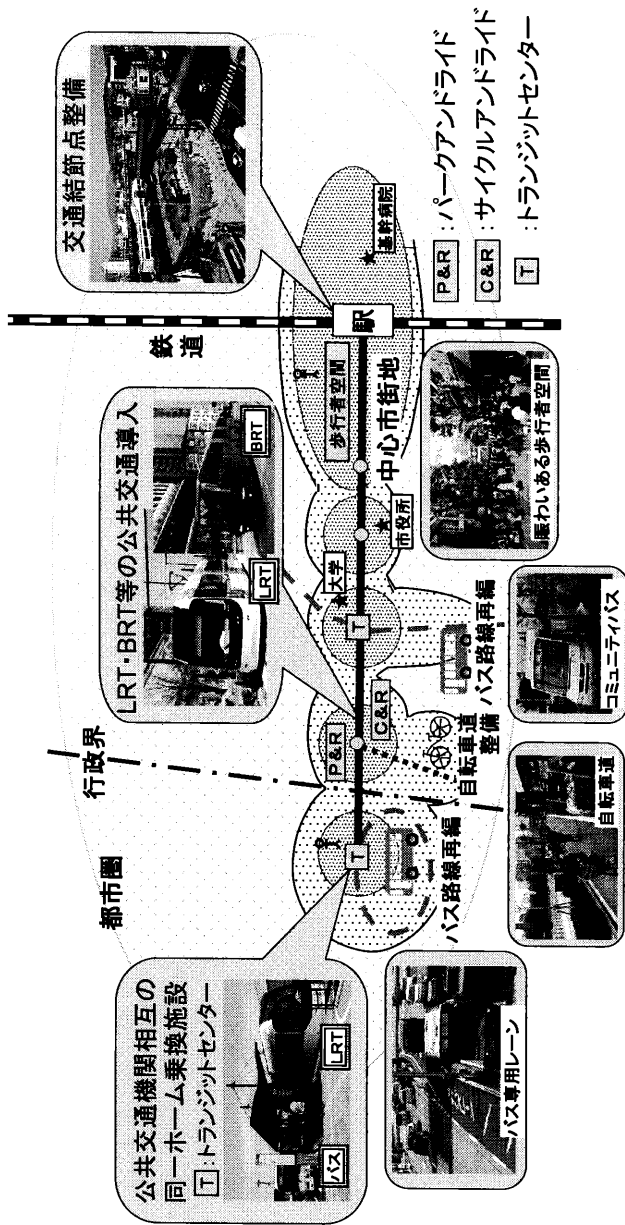
目標：将来像を実現するために必要な都市交通サービスレベル

施策パッケージ

- | | |
|--|---|
| <p>ハード</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ LRT、バス等の公共交通の導入 ○ 交通結節点整備 ○ 歩行者・自転車環境整備 ○ 駐輪場・駐車場整備 ○ 交差点改良等 | <p>ソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歩行者・自転車・自動車・公共交通の適正利用のための啓発活動 ○ バス路線再編による利便性確保と効率的運営 ○ 戦略実施に伴う社会実験等 |
|--|---|

戦略実施プログラム

総合的な交通連携の施策・事業の展開イメージ



徒歩、自転車、自動車、公共交通の適正分担が図られ、交通円滑化、利便性向上、モビリティの確保を実現

宇都宮市の交通に関する最近の取り組み

宇都宮都市圏都市交通マスタープラン

H4年度～ パーソントリップ調査
H7年度 都市交通マスタープラン策定

道路ネットワーク計画

- 南北3軸・東西連結都市骨格道路網の形成
- 3環状12放射状道路網の整備
- 多車線ネットワークの構築

公共交通ネットワーク計画

- 公共交通10分間交通網の形成
- 基幹公共交通ネットワークの構築とトランジットセンターの整備

交通需要管理計画

- 公共交通機関の利便性の向上
- 既存道路の有効活用
- 輸送効率の向上
- 交通需要の平準化
- 官民共同による施策の推進

歩行者自転車ネットワーク計画

- ・ 歩行者・自転車ネットワーク計画の構築
- ・ 運用の工夫

駐車マナーマネジメント計画

- ・ 駐車時間に応じた駐車場の適正配置
- ・ 駐車場から都心への快適な歩行空間の創出

都心部

対応・実施すべき施策と役割分担の計画化

道路ネットワークの取組み

- ・ 市街地通過交通迂回の環状道路整備
- ・ 都市内拠点間交通円滑化の道路整備

公共交通ネットワークに関する取組み

- ・ 公共交通の定時制確保施策の実施
- ・ 生活交通確保施策の実施
- ・ 公共交通需要喚起施策の実施
- ・ 新交通システム導入の調査・検討

駐車場整備に関する取組み

- ・ 既存駐車場有効活用施策の実施

自転車利・活用促進方策に関する取組み

- ・ レンタサイクル事業
- ・ 自転車通行帯整備

○ 効果：施策の明確化により、役割に応じて総合交通施策の観点で事業実施が可能

○ 課題：施策間及び行政・事業者・市民等関係者の横断的連携の強化により、一体的取組みが必要
財政事情・社会情勢の変化により、施策の選択と集中が必要

パッケージ化・プログラム化が必要

宇都宮市都市・地域交通戦略